

「核のごみ」文献調査応募

神恵内村議会が請願採択 北海道

映される配慮あるやり方々、全村民投票など結果を尊重するよう求めるとしていす。

道原発連が抗議

原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分地をめぐって、北海道神恵内(かもえない)村議会は2日、第1段階の「文献調査」への応募を求めた神恵内村商工会(上田道博会長)の請願を賛成多数で採択しました。

北海道の原発問題全道連絡会は同日、「請願の拙速な再審議終了と採決、可決に厳しく抗議し、撤回を求める声明」を発表し、同村議会に送付しました。

9月議会で継続審議の請願が、経済産業省や原子力発電環境整備

機構(NUMO)が乗り込んで5回の村民説明会だけで説明が尽くされたという村議会。

声明は、意見の違いが大きい問題の説明会としては極めて一方的で、説明が尽くされたとは到底言えないと強調。小樽地区漁協組合長会代表が前日、村に抗議に訪れたように後志(しりべし)管内の漁業者や観光事業者、原発・エネルギー政策で全道民全国民にかかわる重大問題であり、可決はあまりにも拙速と批判しています。

各界各層の代表者の意見を聞く村民説明会など全村民の意見が反